

個別研修（末永 美紀子）

**研修テーマ：0歳から高齢者までを対象とした地域福祉と
地域医療の一体的な提供のための組織作り**

アメリカ合衆国 フィラデルフィア RHD（Resources for Human Development）の Family Health & Counseling セクションと Behavioral Health & Housing Division セクションを訪ねた。

RHD は 1970 年からフィラデルフィアを拠点に 14 州で 120 ものプログラムを展開している非営利組織。その対象は、社会の最も弱い立場にある人々で、発達障害、精神障害をもつ人々、薬物やアルコールなどの依存症からの回復過程にある人々、子どもや家族、ホームレスを経験している人、PTSD をもつ退役軍人など幅広い。



RHD の本部といくつかのセクションがおかれている建物。
元は倉庫等として利用されていた。

- (1) 最初に訪問した Family Health & Counseling セクションでは、移動手段がない、貧困や英語がよくできないなどの事情により医療機関にたどり着けない人々や、学校などで行動面での課題を抱えた子どもたちに、初期医療やカウンセリングなどを提供し、学校との連携や他の機関につなぐソーシャルワークも合わせて行っている。初期医療、ワンストップサービスを行うため、内部はさまざまな部屋に分かれている。

個別研修（末永 美紀子）

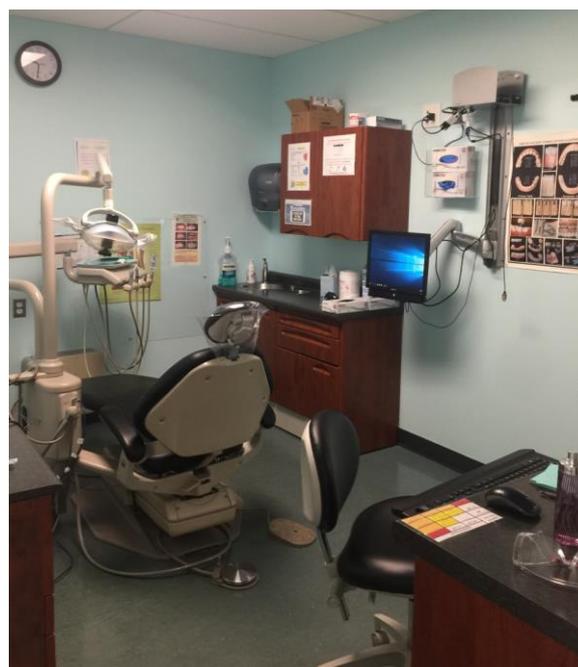
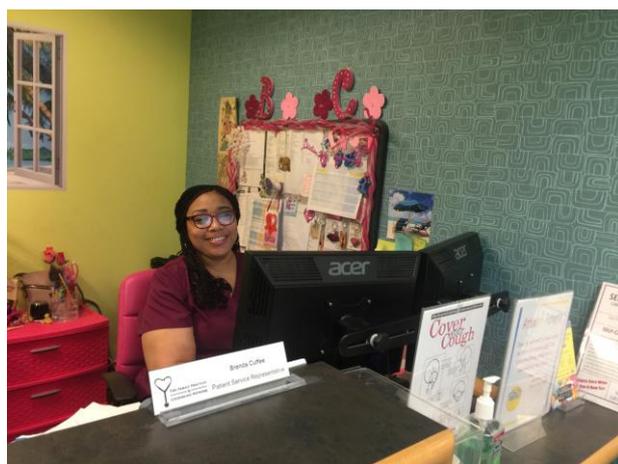
セクションの総合受付：建物の外観からは想像できないような豊かな内装。

内装の色や調度類は、その場所を使うスタッフたちが自分たちで決める。
セクションのことを何でも知り尽くしている Melissa さんが新規事業立ち上げに取り組んでいる同僚と朝の気さくな会話中。



歯科部門の受付：2人いるが、どんどん入る予約をさばくのにとても忙しいとのこと。

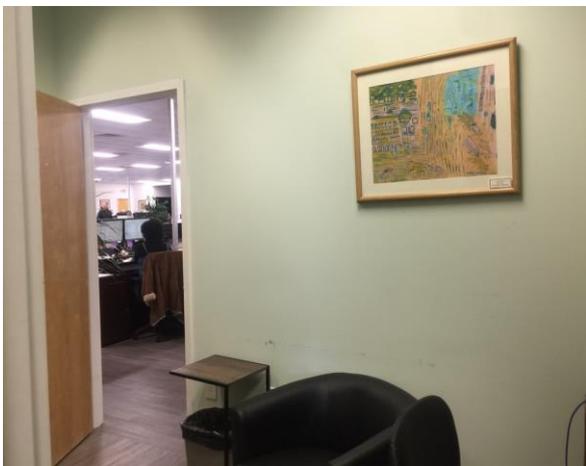
歯科治療室：3人の歯科医師と歯科衛生士チームが8つ以上あるブースで診察と治療を行う。



個別研修（末永 美紀子）

診療室：ナース・プラクティショナーによる診療室もいくつも用意されており、6～8人のナース・プラクティショナーが忙しく働いている。（患者さんがおられたため写真は無し）

相談室：廊下の途中や事務室の隣、受付の横などに少しゆったりと座って話せる場所がいくつも用意されている。医療面だけでなく、かかる費用や保険、今後のリハビリ、通院の手段、生活の状況などを聞き取り、必要な療養やソーシャルサービスにつなげる。連携先はRHDの別のセクションやプログラムである場合もあるし、学校や別の組織、施設であることも多い。英語がよく分からない患者さんや家族のために、電話による通訳とも契約している。



栄養指導室：

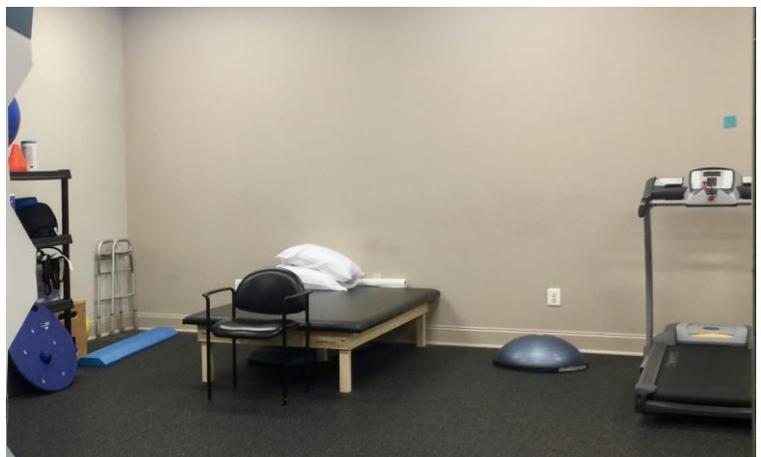
スーパーマーケットやフードドライブで野菜や果物などを入手できても、どのように料理して食べられるのかが分からない人々も多い。カロリーは足りているのに、栄養が偏っている状態を「Food Desert」とよび、指導室では実際に料理をして、自宅でも健康的な食事や疾患別の治療食が続けられるように、同じ建物の中で栄養指導が受けられるようになっている。

瞑想室：

カウンセリングや治療に訪れる患者だけでなく、その家族や、RHDの職員も瞑想やヨガなどのプログラムを利用できる。

理学療法室：

理学療法が必要な場合も、診療や歯科診療などと同じ建物で継続実施ができることは、状況の改善にとっても役立っている。



個別研修（末永 美紀子）

運動室：運動が必要な人々がいつでも訪れて使えるようにさまざまな器具を備えている。
RHD の職員も利用できる。



カウンセリング部門のおふたり

非常に厳しい状況にある人々や子どもを支援するためには、職員自身がセルフケアをしやすい環境をつくり、また職員も話し合いや瞑想、運動などを通じて自分のことを知り、自分を保てるように工夫や努力ができるようにすることが何よりも大事とのこと。

セクション全体を案内して下さった
Director のおふたりと。



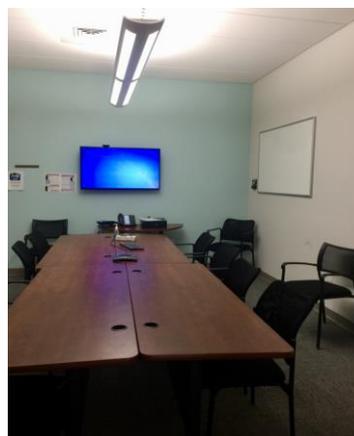
個別研修（末永 美紀子）

(2) Behavioral Health & Housing Division のセクションだけでなく、多くのプログラムを運営する職員が働く大きなワンフロアのオフィス。Senior Staff、Director の肩書きを持つ人やセクションのトップであっても、個室はなく、仕切りのほとんどない同じフロアに机を並べている。多くの職員が利用者の自宅に訪問したり、連携先に出向いたり、在宅勤務なども自己裁量で可能なため、空いている席も多い。



RHD の価値として、常に職員が自らの仕事や会議の時によりどころとなる 12 の言葉をオフィスの壁にもホームページなど

会議室はコンピュータから予約でき、打合せ必要な時には誰でも予約して使える。机の真ん中にある機械とスクリーンは、他の社会福祉施設などとオンライン会議を行うためのシステム



案内して下さった地域担当ディレクターさん

